

恵那市地域医療ビジョン計画策定委員会作業部会（中間報告）

【経営部会】

開催日	第1回 令和6年9月13日（金曜日） 第2回 9月27日（金曜日） 第3回 10月10日（木曜日）
メンバー	国保上矢作病院：事務長、医事課係長、外来看護師 国保岩村診療所：主任主査、看護師 地域医療課：担当係長
検討内容 1	公立医療機関の規模・機能の検討【国保上矢作病院】
(1) 現状	・ 恵南地域の人口減少が著しく、入院・外来患者数が減少している。（最大稼働病床数 R4：37床、R5：36床/56床 R5病床利用率 44%） ・ 救急患者の受け入れが困難になっている。 ・ 入院患者は、慢性期の患者の入院が増加している。 ・ 整形外科を含む外科的手術件数が減少している。 ・ 新規医療従事者の応募がなく、一方、定年退職者が予定されている中、医療従事者の確保が困難となっている。（令和11年度までに定年予定者10名） ・ 施設設備が著しく老朽化が進展している。（施設等整備部会で記載） ・ 東濃地域医療構想等調整会議を踏まえた病床数の検討を行う必要がある。（ダウンサイジングを視野に）
(2) 課題	・ 上矢作病院の病床数を減らしても看護基準の人数は同じのため、人件費の削減は見込めない。 ・ 救急告示病院を取り下げた場合、地方交付税が大幅に減少される。 ・ 人口減少に伴い患者数は減少する。一方、後期高齢者の慢性期の患者の入院が見込まれる。 ・ 医療従事者の確保が困難。（募集するも応募なし） ・ 施設設備全体の老朽化が進展している。（施設基準への影響）
(3) 実施	・ 上矢作病院は、人口減少に伴い患者数の減少及び医療従事者の確保状況により施設規模の検討が必要となる。但し、慢性期の患者の入院の需要はある。 ・ 医療従事者の随時募集はしているが応募がない。現在勤務している職員数では、病院の維持は困難になるため、早急に対策を検討する。 ・ 病院施設の建替えを行う。但し、人口減少が進む中、将来を見据えて病院としての機能を維持するか若しくは規模を縮小し診療所にするか、別に検討をする必要がある。
(4) 計画	・ 病院は、施設規模を検討し、令和●年度に●●にする。 ・ 病院は、令和●年度に●●として建替えを行う。
検討内容 2	公立医療機関の規模・機能の検討【直営診療所】
(1) 現状	・ 各地域の人口減少により、外来患者数が減少している。 ・ 医療従事者（臨床工学技士）の不足により、透析患者数を制限してい

	る。 ・新たな医師の確保が困難になっている。(R7、8 所長定年退職) ・1 人医師、看護師、事務職（委託）への休暇等支援体制が不十分である。(飯地、三郷診療所) ・施設設備の老朽化。(岩村、三郷、上矢作歯科診療所)
(2) 課題	・患者数は減少するも、将来にわたり必要な医療サービスを安定的かつ継続的に提供すること。 ・医療従事者の定年退職などにより、医療従事者が不足する。 ・1 人体制のため、休暇等取得時に支援が必要となる。 ・施設設備の老朽化が進行している。
(3) 実施	・患者数の推計などを勘案して、診療日及び診療時間の見直しを図る。 ・施設設備の老朽化では、令和3 年度に複合施設である飯地診療所の大規模改修工事を実施した。令和4 年度から3 年をかけて山岡診療所の設置してある恵那市健康プラザ大規模改修工事を実施している。 ・三郷、串原、岩村診療所の改修工事を実施する。岩村診療所については建替えも視野に入れて検討する。
(4) 計画	・令和7 年度に順次医師や医療従事者の相互支援を実施し、各診療所等の運営を実施。(予定) ・令和●年度、岩村診療所の改修工事。(予定) ・令和●年度、